
1. <水球陣>関東学生リーグ第一戦

H27.5.16 対一橋大 @専修大学プール

東大 5 5 4 2 計 16

一橋大 0 0 1 0 計 1

得点者：浪間(5)、池亀(3)、石田(2)、梶原(1)、藤目(1)、細江(2)、山田(2)

学生リーグの初戦。一年生として初めて見るリーグの試合を期待と緊張が混ざった気持ちで見守った。相手は格上ではないものの初戦で気を抜くことはできない。チームとしても気を引き締めて試合に臨んだ。

第1ピリオド

センターボールは一橋大が取るがすぐさま東大がカット。そのまま攻め入り、ゴールを狙うも外れる。しかし、その後も相手には満足に攻めさせず、ボールをカットしては攻撃する場面が続く。開始一分半ほどで梶原が初ゴール。中央でフリーになったところからのシュートだった。またボールをカットしては攻める場面が続く。退水をとるも決めきれない、ゴール前で決められないことが続く。この流れを浪間がフローティングからのシュートで打ち破る。ここからは攻めのリズムもよくなり、続けて浪間が二点と池亀が一点の計三点を決めた。ディフェンスは固く、このピリオドは無失点に抑えた。

第2ピリオド

東大はスタメンから一人メンバーをかえてのスタート。1ピリ同様、センターボールを取られたが、カットしてオフェンスへ。点の決まらないまま攻守が入れ替わるが、一分が経過した頃、一橋の3番が二度目の退水。この退水中にシュートを決められないもののコーナーを獲得。ここで相手の3番が不正入水をしてしまい永退。さらに東大のペナルティスローからスタート。これを浪間が無事に決めてこのピリオド初得点。一方、中心選手である3番を失った一橋大。ここからはより一層東大のペースとなる。ディフェンスはより固くなり、相手に満足なシュートを打たせない。対して東大は浪間のフローティングからのゴール。石田から池亀への息の合ったパスからのハンツ。そして退水セットからの石田の得点と相手に攻める隙を与えずにゴールを重ねた。このピリオドも無失点に抑え、1ピリと同じ5点をあげ、10対0と引き離れた。

第3ピリオド

点差が開いたので東大はスタメンから大きくメンバーを入れ替え。相手ボールからスタート。前半のスタメンに比べ、パスミスや相手にカットされることが増える。相手は先ほどよりも攻める機会が増え、ゴールバーに当たって外れた後のボールを押し込むことで一橋大初得点。その後、徐々に流れを取り戻し攻撃機会の増えた東大は左から中の細江に入れてシュートという形でこのピリオド初得点。さらにまた細江がフローティングから得点。ここからは東大のディフェンスに乱れが生まれ始め、相手にシュートを打たれる場面が続く。しかし、そのシュートすべてキーパー疋田が好セーブをみせゴールを決めさせない。東大の攻めはパスミスからカットされたり、フリーでシュートを外したりと試合前半ほど得点できなかったものの終盤に池亀がミドルからゴール、さらに左上でフリーの状態から山田がゴール。失点はしたもののこのピリオドも取り、点差を13点に広げた。

第4ピリオド

メンバーをスタメンに戻してのスタート。この日初めてセンターボールを取った東大はそのまま右、中へとボールを回し、ハンツで藤目がゴール。リスタートからは中央でボールをカットするとすぐさま攻め込み山田がゴール。この得点により15点差がついたためこの試合はコールドゲームとなり、東大が勝利した。

リーグ初戦を無事に勝利で飾ることができた。最少失点に抑え、コールド勝ちできたところがよかった。初めて学生リーグの試合を見た自分だったが期待を裏切らない見事なプレーで安心して試合を観戦できた。

最後に応援に来てくださった林さん、吉田さん、有吉さん、桐生さん、応援ありがとうございました。

(文責 鈴木大翔)

=====